



## 2026年1月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2025年12月15日

上場会社名 株式会社ダブルエー

上場取引所 東

コード番号 7683 U R L <https://www.wa-ja.com/>

代表者 (役職名) 代表取締役 (氏名) 肖 俊偉

問合せ先責任者 (役職名) 執行役員 (氏名) 丹下 祐二

T E L 03 (5423) 3601

配当支払開始予定日 一

決算補足説明資料作成の有無: 有 (12月15日開示予定)

決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 2026年1月期第3四半期の連結業績 (2025年2月1日～2025年10月31日)

(1) 連結経営成績 (累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
2026年1月期第3四半期	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2026年1月期第3四半期	16,815	2.6	755	△32.9	887	△17.2	509	△17.0
2025年1月期第3四半期	16,384	8.7	1,125	2.0	1,071	5.5	613	4.1

(注) 包括利益 2026年1月期第3四半期 469百万円 (△30.7%) 2025年1月期第3四半期 676百万円 (△6.6%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
2026年1月期第3四半期	円 銭	円 銭
2025年1月期第3四半期	26.69	26.61
	32.18	32.08

(注) 当社は、2024年8月16日開催の取締役会決議により、2024年9月1日付で普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っております。

前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、「1株当たり四半期純利益」及び「潜在株式調整後1株当たり四半期純利益」を算定しております。

### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
2026年1月期第3四半期	百万円	百万円	%
2025年1月期	13,276	10,847	81.7
	13,134	10,749	81.8

(参考) 自己資本 2026年1月期第3四半期 10,847百万円 2025年1月期 10,749百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
2025年1月期	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2026年1月期	—	12.00	—	22.00	34.00
2026年1月期(予想)	—	8.50	—	8.50	17.00

(注) 1. 直近に公表されている配当予想からの修正の有無: 無

2. 2025年1月期期末配当金の内訳 普通配当 12円00銭 記念配当 10円00銭 (株式上場5周年記念配当)

詳細に関しましては、2024年10月15日に公表いたしました「配当予想の修正(株式上場5周年記念配当)に関するお知らせ」をご覧ください。

3. 当社は、2024年8月16日開催の取締役会決議により、2024年9月1日付で普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っております。2025年1月期については、当該株式分割前の配当金の額を記載しております。

### 3. 2026年1月期の連結業績予想（2025年2月1日～2026年1月31日）

（%表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益	1株当たり当期純利益
通期	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
	23,901	4.8	1,286	△23.0	1,424	△10.3	832	△16.5

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無：有

#### ※ 注記事項

（1）当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更：無

（2）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

（3）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

（注）詳細は、添付資料7ページ「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記（3）四半期連結財務諸表に関する注記事項（会計方針の変更に関する注記）」をご覧ください。

（4）発行済株式数（普通株式）

- ① 期末発行済株式数（自己株式を含む）
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数（四半期累計）

2026年1月期3Q	19,079,120株	2025年1月期	19,076,640株
2026年1月期3Q	202株	2025年1月期	202株
2026年1月期3Q	19,077,494株	2025年1月期3Q	19,065,923株

（注）当社は、2024年8月16日開催の取締役会決議により、2024年9月1日付で普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、「期末発行済株式数（自己株式を含む）」、「期末自己株式数」及び「期中平均株式数（四半期累計）」を算定しております。

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー：無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項については、添付資料3ページ「1. 経営成績等の概況（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

（決算補足説明資料の入手方法）

決算補足説明資料はT D n e tで2025年12月15日に開示し、開示後速やかに当社ウェブサイトに掲載する予定です。

## ○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況 .....	2
(1) 当四半期の経営成績の概況 .....	2
(2) 当四半期の財政状態の概況 .....	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間 .....	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間 .....	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	7
(会計方針の変更に関する注記) .....	7
(セグメント情報等の注記) .....	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	8
(継続企業の前提に関する注記) .....	8
(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記) .....	8

## 1. 経営成績等の概況

当社グループは、第1四半期連結会計期間においてヒロタ株式会社より31 Sons de mode（トランテアン ソン ドゥ モード）の事業譲受を行ったため、当第3四半期連結会計期間の財政状態及び当第3四半期連結累計期間の経営成績に影響を及ぼしております。

### （1）当四半期の経営成績の概況

当第3四半期連結累計期間（2025年2月1日～2025年10月31日）におけるわが国経済は、大手企業を中心とする雇用・所得環境の改善や堅調なインバウンド需要、各種の政策効果等により、景気は緩やかな回復基調を辿りました。一方で、米国の通商政策に端を発する関税協議や不安定な国際政治情勢、原材料やエネルギー等のコスト高、長期化する円安進行の影響など、景気の先行きは依然として不透明な状況が続いております。

当社グループが主として所属する靴業界におきましては、業界全体の市場規模は減少傾向にあるものの、スニーカーを中心としたカジュアル志向の靴や履き心地等の機能性を重視した靴は、底堅い需要のもと拡大傾向にあります。また、社会経済活動の正常化に伴い、フォーマルシーンにおけるオケージョン需要が好調であります。

このような状況の中、当社グループは、「いつでも想像以上に満足のできる商品・サービスを提供します。」の企業理念のもと、引き続き好立地かつ好条件の店舗展開と、更なる成長が期待されるオンライン販売の拡大に取り組んでまいりました。

当第3四半期連結累計期間におきましては、消費者の購買行動の高まりやインバウンド需要の拡大に伴い、売上高は前年同期を上回りました。その一方で、円安進行に伴う仕入原価の上昇や人件費・物流コスト等の販売費及び一般管理費の増加の影響により、営業利益は前期を下回りました。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間における売上高は16,815,393千円（前年同期比2.6%増）、営業利益は755,022千円（前年同期比32.9%減）、経常利益は887,613千円（前年同期比17.2%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益は509,088千円（前年同期比17.0%減）となりました。

当第3四半期連結累計期間における報告セグメントごとの業績は、次のとおりであります。

#### （婦人靴の企画・販売事業）

婦人靴の企画・販売事業におきましては、旗艦店を含む複数の店舗リニューアルに伴う一時休業がありました。新規店舗の出店により売上高は前年同期を上回りました。その一方で、出店及び改装に係る諸費用の増加や改裝休業に伴う販売機会の減少の影響により、セグメント利益は前年同期を下回りました。

以上の結果、婦人靴の企画・販売事業の売上高は14,892,593千円（前年同期比0.5%増）、セグメント利益は2,325,405千円（前年同期比6.7%減）となりました。

#### （婦人服の企画・販売事業）

婦人服の企画・販売事業におきましては、経営資源の最適化を目的とした一部店舗の退店や、旗艦店を含む複数の店舗リニューアルに伴う一時休業がありましたが、31 Sons de mode（トランテアン ソン ドゥ モード）の事業譲受に係る新規店舗の増加により売上高は前年同期を上回りました。その一方で、当該事業譲受に係る諸費用や人件費の増加、改裝休業に伴う販売機会の減少の影響により、セグメント損失を計上いたしました。

以上の結果、婦人服の企画・販売事業の売上高は1,922,800千円（前年同期比23.2%増）、セグメント損失は162,323千円（前年同期はセグメント利益11,749千円）となりました。

(2) 当四半期の財政状態の概況

(資産)

総資産は、前連結会計年度末に比べて、141,416千円増加して13,276,314千円となりました。これは主に、棚卸資産が1,272,855千円、事業譲受等の影響により敷金及び保証金が176,059千円それぞれ増加した一方で、受取手形及び売掛金が394,897千円、現金及び預金が925,744千円それぞれ減少したことによるものです。

(負債)

負債は、前連結会計年度末に比べて、43,511千円増加して2,428,716千円となりました。これは主に、買掛金が566,822千円増加した一方で、リース債務（その他流動負債）が221,828千円、未払法人税等が246,415千円、役員退職慰労引当金が59,416千円それぞれ減少したことによるものです。

(純資産)

純資産は、前連結会計年度末に比べて、97,905千円増加して10,847,597千円となりました。これは主に、親会社株主に帰属する四半期純利益の計上により利益剰余金が509,088千円増加した一方で、配当金の支払により利益剰余金が372,011千円、為替換算調整勘定が20,520千円それぞれ減少したことによるものです。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、当第3四半期連結累計期間までの業績動向を踏まえ、2025年3月17日に公表いたしました2026年1月期の通期連結業績予想を修正いたします。

詳細につきましては、本日（2025年12月15日）別途開示いたします「連結業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2025年1月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2025年10月31日)
<b>資産の部</b>		
流动資産		
現金及び預金	2,895,704	1,969,960
受取手形及び売掛金	2,002,798	1,607,900
棚卸資産	4,582,499	5,855,354
その他	520,637	443,391
流动資産合計	10,001,640	9,876,607
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	880,598	792,121
工具、器具及び備品（純額）	176,830	260,425
土地	233,468	233,468
その他（純額）	51,699	36,377
有形固定資産合計	1,342,597	1,322,392
無形固定資産		
ソフトウェア	25,337	21,695
その他	55	55
無形固定資産合計	25,392	21,751
投資その他の資産		
投資有価証券	204,514	263,520
敷金及び保証金	959,640	1,135,700
繰延税金資産	588,120	643,162
その他	12,991	13,180
投資その他の資産合計	1,765,267	2,055,563
固定資産合計	3,133,257	3,399,706
資産合計	13,134,897	13,276,314

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2025年1月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2025年10月31日)
<b>負債の部</b>		
<b>流動負債</b>		
買掛金	385,013	951,836
未払法人税等	386,066	139,651
賞与引当金	104,799	154,736
クーポン引当金	2,027	1,530
株主優待引当金	38,820	37,078
その他	903,085	627,746
<b>流動負債合計</b>	<b>1,819,812</b>	<b>1,912,579</b>
<b>固定負債</b>		
役員退職慰労引当金	274,250	214,833
退職給付に係る負債	185,263	193,330
その他	105,879	107,973
<b>固定負債合計</b>	<b>565,392</b>	<b>516,137</b>
<b>負債合計</b>	<b>2,385,205</b>	<b>2,428,716</b>
<b>純資産の部</b>		
<b>株主資本</b>		
資本金	1,654,739	1,655,153
資本剰余金	1,604,704	1,605,116
利益剰余金	7,198,746	7,335,823
自己株式	△207	△207
<b>株主資本合計</b>	<b>10,457,982</b>	<b>10,595,886</b>
<b>その他の包括利益累計額</b>		
その他有価証券評価差額金	10	△19,466
為替換算調整勘定	291,698	271,177
<b>その他の包括利益累計額合計</b>	<b>291,709</b>	<b>251,711</b>
<b>純資産合計</b>	<b>10,749,692</b>	<b>10,847,597</b>
<b>負債純資産合計</b>	<b>13,134,897</b>	<b>13,276,314</b>

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2024年2月1日 至 2024年10月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2025年2月1日 至 2025年10月31日)
売上高	16,384,378	16,815,393
売上原価	6,202,041	6,424,924
売上総利益	10,182,336	10,390,468
販売費及び一般管理費	9,056,896	9,635,446
営業利益	1,125,440	755,022
営業外収益		
受取利息	22,379	13,409
受取配当金	4,731	7,730
為替差益	—	124,051
その他	5,277	580
営業外収益合計	32,388	145,770
営業外費用		
支払利息	13,290	11,318
為替差損	71,092	—
その他	1,838	1,860
営業外費用合計	86,221	13,179
経常利益	1,071,607	887,613
特別利益		
負ののれん発生益	—	5,317
補助金収入	—	1,325
特別利益合計	—	6,643
特別損失		
固定資産除却損	1,754	3,099
特別損失合計	1,754	3,099
税金等調整前四半期純利益	1,069,853	891,157
法人税、住民税及び事業税	521,064	428,124
法人税等調整額	△64,657	△46,055
法人税等合計	456,406	382,069
四半期純利益	613,446	509,088
親会社株主に帰属する四半期純利益	613,446	509,088

(四半期連結包括利益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2024年2月1日 至 2024年10月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2025年2月1日 至 2025年10月31日)
四半期純利益	613,446	509,088
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	11,923	△19,476
為替換算調整勘定	51,056	△20,520
その他の包括利益合計	62,979	△39,997
四半期包括利益	676,426	469,091
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	676,426	469,091
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

## (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

## (会計方針の変更に関する注記)

(「法人税、住民税及び事業税等に関する会計基準」等の適用)

「法人税、住民税及び事業税等に関する会計基準」（企業会計基準第27号 2022年10月28日。以下「2022年改正会計基準」という。）等を第1四半期連結会計期間の期首から適用しております。

法人税等の計上区分（その他の包括利益に対する課税）に関する改正については、2022年改正会計基準第20-3項ただし書きに定める経過的な取扱い及び「税効果会計に係る会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第28号 2022年10月28日。以下「2022年改正適用指針」という。）第65-2項（2）ただし書きに定める経過的な取扱いに従っております。なお、当該会計方針の変更による四半期連結財務諸表への影響はありません。

また、連結会社間における子会社株式等の売却に伴い生じた売却損益を税務上繰り延べる場合の連結財務諸表における取扱いの見直しに関する改正については、2022年改正適用指針を第1四半期連結会計期間の期首から適用しております。当該会計方針の変更は、遡及適用され、前年四半期及び前連結会計年度については遡及適用後の四半期連結財務諸表及び連結財務諸表となっております。なお、当該会計方針の変更による前年四半期の四半期連結財務諸表及び前連結会計年度の連結財務諸表への影響はありません。

## (セグメント情報等の注記)

## 【セグメント情報】

## I 前第3四半期連結累計期間（自 2024年2月1日 至 2024年10月31日）

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			合計	調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	婦人靴の 企画・販売 事業	婦人服の 企画・販売 事業	計			
売上高						
外部顧客への売上高	14,823,663	1,560,715	16,384,378	16,384,378	—	16,384,378
セグメント間の 内部売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	14,823,663	1,560,715	16,384,378	16,384,378	—	16,384,378
セグメント利益	2,491,679	11,749	2,503,428	2,503,428	△1,377,987	1,125,440

(注) 1. セグメント利益の調整額は、報告セグメントに配分していない全社費用であります。全社費用

は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費等であります。

2. セグメント利益は、連結損益計算書の営業利益と一致しております。

## 2. 報告セグメントの変更等に関する事項

「II 当第3四半期連結累計期間 2. 報告セグメントの変更等に関する事項」に記載のとおりであります。

## 3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。

## II 当第3四半期連結累計期間（自 2025年2月1日 至 2025年10月31日）

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			合計	調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	婦人靴の 企画・販売 事業	婦人服の 企画・販売 事業	計			
売上高						
外部顧客への売上高	14,892,593	1,922,800	16,815,393	16,815,393	—	16,815,393
セグメント間の 内部売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	14,892,593	1,922,800	16,815,393	16,815,393	—	16,815,393
セグメント利益又は セグメント損失 (△)	2,325,405	△162,323	2,163,082	2,163,082	△1,408,059	755,022

(注) 1. セグメント利益又はセグメント損失 (△) の調整額は、報告セグメントに配分していない全社費用であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費等であります。

2. セグメント利益又はセグメント損失 (△) は、連結損益計算書の営業利益と一致しております。

## 2. 報告セグメントの変更等に関する事項

前連結会計年度より、「その他事業」に含まれていた「婦人服の企画・販売事業」について量的な重要性が増したため報告セグメントとして記載する方法に変更しております。

なお、前第3四半期連結累計期間のセグメント情報は、当第3四半期連結累計期間の報告セグメントの区分に基づき作成したものを開示しております。

## 3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(重要な負ののれん発生益)

第1四半期連結会計期間において、ヒロタ株式会社より31 Sons de mode (トランテアン ソン ドゥ モード) の事業譲受を行ったことにより、「婦人服の企画・販売事業」において負ののれん発生益を認識しております。当該事象による負ののれん発生益の計上額は5,317千円であります。なお、負ののれん発生益の計上額は特別利益のためセグメント利益には含まれておりません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第3四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第3四半期連結累計期間に係る減価償却費（無形固定資産に係る償却費を含む。）は、次のとおりであります。

前第3四半期連結累計期間  
(自 2024年2月1日  
至 2024年10月31日)

当第3四半期連結累計期間  
(自 2025年2月1日  
至 2025年10月31日)

減価償却費

438,618千円

464,446千円